

江戸川女子中学校 A O入試 国語サンプル問題

【文章題】

著作権等の関係で問題文は掲載せず、出題方法のみの説明となっております。ご了承ください。

① 一、〇〇〇字程度の読みやすい物語文・説明文を五題程度出題しています。

② 解答方法は記号選択と抜き出しがほとんどです。「慣用表現の完成」に関しては、適切な語句を自分で書く場合があります。

例、「二階から」 ↓答えとして「目薬」を書く。

③ 物語文では、「登場人物の把握」「適切な語句の補充(空欄補充)」「ストーリーの確認」「慣用表現の完成(空欄補充)」等の問題を出題しています。

④ 説明文では、「※<sub>1</sub>キーワードの言い換え」「※<sub>2</sub>キーワードの理由説明」「※<sub>3</sub>本文の主旨要約」「接続語の補充(空欄補充)」等の問題を出題しています。

※1の例

「赤ん坊が泣くと周りの大人がすぐに赤ん坊のもとへかけよります」とありますが、このような「大人」の行動を何と言いますか。本文中から五字以内で抜き出しなさい。

※2の例

「最大の学びの場」とありますが、このように言えるのはなぜですか。その理由を書いている一文を探し、始めの五字を抜き出しなさい。

※3の例

次の  ア  ウ  に入るものとして最適な言葉を本文中からさがして答えなさい。

筆者は朝顔の観察を通して、植物が  ア と  イ であることを発見し、物事を観察する際の  ウ の大切さに気がついた。

【詩・短歌・俳句】

① 詩・短歌・俳句では、「※<sub>1</sub>比喩表現の解釈」「※<sub>2</sub>適切な鑑賞文の選択」「適切な語句の補充(抜き出し)」「季節の指摘」「表現技法の指摘」等を出題しています。

② 解答方法は記号選択と抜き出しがほとんどです。「季節の指摘」は、季節名を記述で解答する場合があります。

※1の例

「王冠をかぶり」とありますが、これはどのような様子を表していますか。最適なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 自信に満ちあふれている様子。
- イ 周りからの期待に応えようとしている様子。
- ウ 独りよがり信じている様子。
- エ 強がって弱さをかくそうとしている様子。

※2の例

Aの短歌の鑑賞文として最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。  
ア 親しみやすい言葉づかいで、おだやかな日常の様子を描いている。  
イ 体言止めを使うことによって、作者の思いの強さを表現している。  
ウ 比喩を多く使うことによって、非現実的な雰囲気を出している。  
エ リズミカルに言葉を重ねることで、軽快な調子を生み出している。

【ことわざ・慣用句・四字熟語】

次あげる出題例とは異なる出題方法もあり得ますが、

- ① 意味と語句をしつかりと覚える
- ② 四字熟語は漢字で書けるように勉強をしてください。

例1

次の①〜③の意味をあらわすことわざを、後のア〜カの中から選び、記号で答えなさい。

- ① 思いがけない幸運がめぐってくること。
- ② よくばり過ぎてかえって何も手に入られないこと。
- ③ 利口で、物事の判断が素早いこと。

- |   |          |   |         |
|---|----------|---|---------|
| ア | 紺屋の白袴    | イ | あぶはち取らず |
| ウ | 目から鼻へぬける | エ | 焼け石に水   |
| オ | 光陰矢の如し   | カ | 柵からばたもち |

例2

次の意味を表す四字熟語を後から選び、漢字に直して答えなさい。

- ① 人生で一度きりと考え、そのことに専念すること。

- |         |        |        |
|---------|--------|--------|
| せいこううどく | いちごいちえ | おんこちしん |
|---------|--------|--------|

例1 ①カ ②イ ③ウ

例2 一期一会

【漢字】

一般的な読み・書きの問題に加え、次のような出題もあります。漢字検定の出題に似ています。

例1

次のそれぞれの□には同じ漢字が入ります。□に入る漢字を答えなさい。

- ① 観□・視□・□知                      ② □意・□文・発□

例2

次のアとイの熟語の組み立てとして正しいものを①〜⑤から選び、記号で答えなさい。

- |   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| ア | 激怒 | イ | 終始 |
|---|----|---|----|

- ① 同じような意味の漢字を重ねたもの。                      例 岩石
- ② 反対の意味の漢字を組み合わせたもの。                      例 高低
- ③ 上の漢字が下の漢字を説明しているもの。                      例 弱点
- ④ 「:」に「:」にあたる漢字が下にくるもの。                      例 作文
- ⑤ 上の漢字が主語、下の漢字が述語になっているもの。                      例 私有

例1 ①察 ②注

例2 ア、③ イ、②

【文法】 ※次にあげる出題例と異なる可能性もあります。

例 1

次の――部と同じ用法のものをア～エから選び、記号で答えなさい。

私は家にいる。

- ア 持ち上げるのに便利だ。      イ 先生に伝える。  
ウ 八月に旅行に行く。          エ 部屋にテレビがない。

例 2

次の□にひらがなを一字ずつ入れて文を完成させなさい。

- ① かれは□□□ゆうれいにも会ったような青い顔をしていた。  
② 話の内容が□□□□わからなかった。

【敬語】 ※次にあげる出題例と異なる可能性もあります。

例

次の（ ）内の言葉を、適切な敬語表現に直しなさい。

- ① 私はたくさんの料理を美味しく（食べた）。  
② 父が先生によろしくと（言って）おりました。

例 1  
エ

例 2 ①まるぶ    ②なっぱり（まったく）

例 ①いただいた    ②申して